



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年10月31日

上場会社名 わかもと製薬株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4512 URL http://www.wakamoto-pharm.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神谷 信行  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 増田 康彦 TEL 03-3279-0371  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,931	4.5	△122	—	36	—	5	—
25年3月期第2四半期	4,719	—	△322	—	△240	—	△241	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	0.15	—
25年3月期第2四半期	△6.94	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	17,288	12,808	74.1	368.35
25年3月期	17,552	12,638	72.0	363.37

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 12,808百万円 25年3月期 12,638百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有 : 無

### 3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,200	2.7	40	—	280	—	140	—	4.03

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	34,838,325株	25年3月期	34,838,325株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	65,393株	25年3月期	56,791株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	34,776,180株	25年3月期2Q	34,791,334株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における医薬品業界は、引き続き医療費抑制策の基調は変わらず、また、一般用医薬品市場も低迷が続いており、厳しい環境下で推移いたしました。

そのなかにあって当社の医薬事業では、主力製品である「ジクロード点眼液0.1%」、「ゼペリン点眼液0.1%」「リズモンTG点眼液」等の点眼剤、緑内障・高眼圧症治療点眼後発薬「ラタノプロスト点眼液0.005%わかもと」・「ラタノプロスト点眼液0.005%NP」、眼科手術補助剤・硝子体内注用副腎皮質ホルモン剤「マキユエイド硝子体内注用40mg」および共同販売医家向けサプリメント「オキュバイト」シリーズ等の販売促進を行ってまいりました。

薬粧事業では、主力製品である「強力わかもと」に加え、薬用歯磨き（医薬部外品）「アバンビーズ」シリーズをリニューアルした「アバンビーズDX」シリーズとして「アバンビーズDX歯周病予防」「アバンビーズDX口臭予防」「アバンビーズDXダンプランシユ美白」「アバンビーズDX知覚過敏予防」「アバンビーズDX コーラルε（イプシロン）」の5製品および新発売した「わかもと整腸薬ビナチュラ」の販売促進を行ってまいりました。

特販事業では、国内向けに医薬品原料の販売と他社受託品を、海外向けに「わかもと」、乳酸菌および点眼剤の製造販売に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は49億3千1百万円（前年同期比4.5%増）、営業損失1億2千2百万円（前年同期は営業損失3億2千2百万円）、経常利益は3千6百万円（前年同期は経常損失2億4千万円）、四半期純利益は5百万円（前年同期は四半期純損失2億4千1百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

セグメント別の売上高の状況につきましては、医薬事業では「マキユエイド硝子体内注用40mg」、「オキュバイト」の売上が増加しましたが、「ジクロード点眼液0.1%」、「ゼペリン点眼液0.1%」、「リズモンTG点眼液」が減少いたしました。その結果、売上高は28億円（前年同期比0.8%減）となりました。

薬粧事業では、主力製品の「強力わかもと」の売上が増加し、その結果、売上高は9億5千2百万円（前年同期比1.9%増）となりました。

特販事業では、国内向他社受託品が増加し、また輸出用「わかもと」が堅調に推移いたしました。その結果、売上高は11億7千6百万円（前年同期比23.3%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、172億8千8百万円となり前事業年度末比2億6千3百万円（1.5%減）の減少となりました。流動資産は88億9千万円となり5億9千8百万円（6.3%減）の減少、固定資産は83億9千8百万円となり3億3千5百万円（4.2%増）の増加となりました。

流動資産が減少いたしましたのは、受取手形及び売掛金が減少したことが主たる要因であり、固定資産が増加いたしましたのは、株価の上昇に伴い、投資有価証券が増加したことが主たる要因であります。

一方、負債の部は、44億8千万円となり前事業年度末比4億3千3百万円（8.8%減）の減少となりました。流動負債は26億3千8百万円となり2億4千4百万円（10.2%増）の増加、固定負債は18億4千1百万円となり6億7千7百万円（26.9%減）の減少となりました。

流動負債が増加いたしましたのは、一年以内返済予定の長期借入金（固定負債）を短期借入金に振替えたことが主たる要因であり、固定負債が減少いたしましたのは、前述のとおり長期借入金が増加したことが主たる要因であります。

純資産の部は、128億8百万円となり前事業年度末比1億6千9百万円（1.3%増）の増加となりました。その他有価証券評価差額金が増加したことが主たる要因であります。この結果、自己資本比率は、前事業年度末の72.0%から74.1%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。通期の業績予想につきましては、本日平成25年10月31日に業績修正を開示しております。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,533,559	2,563,407
受取手形及び売掛金	3,793,239	3,304,190
有価証券	405,995	406,121
商品及び製品	1,374,749	1,374,314
仕掛品	395,302	361,217
原材料及び貯蔵品	511,353	421,075
繰延税金資産	332,523	309,975
その他	142,030	149,737
流動資産合計	9,488,753	8,890,041
固定資産		
有形固定資産		
建物	6,464,961	6,683,948
減価償却累計額	△3,642,020	△3,761,865
建物（純額）	2,822,940	2,922,082
構築物	272,592	272,589
減価償却累計額	△187,264	△194,153
構築物（純額）	85,328	78,436
機械及び装置	7,179,602	7,365,427
減価償却累計額	△6,195,971	△6,330,958
機械及び装置（純額）	983,630	1,034,468
車両運搬具	39,046	33,301
減価償却累計額	△36,097	△31,118
車両運搬具（純額）	2,948	2,183
工具、器具及び備品	796,206	806,807
減価償却累計額	△729,517	△742,793
工具、器具及び備品（純額）	66,688	64,014
土地	341,552	341,552
建設仮勘定	311,418	375,479
有形固定資産合計	4,614,507	4,818,218
無形固定資産		
特許権	942	882
特許実施権	300,000	300,000
ソフトウェア	70,588	143,165
ソフトウェア仮勘定	73,781	—
その他	5,943	5,893
無形固定資産合計	451,255	449,942
投資その他の資産		
投資有価証券	1,971,059	2,206,211

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年 3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年 9月30日)
保険積立金	592,805	558,768
関係会社出資金	1,777	—
繰延税金資産	341,164	277,694
その他	90,859	87,829
投資その他の資産合計	2,997,666	3,130,503
固定資産合計	8,063,429	8,398,664
資産合計	17,552,183	17,288,705
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,111,387	747,783
短期借入金	332,000	890,000
未払法人税等	56,745	20,361
未払消費税等	39,635	—
賞与引当金	262,100	211,100
返品調整引当金	13,000	10,000
その他	579,759	759,589
流動負債合計	2,394,628	2,638,834
固定負債		
退職給付引当金	1,406,908	1,397,452
役員退職慰労引当金	9,600	9,600
長期借入金	1,102,000	434,000
その他	316	316
固定負債合計	2,518,824	1,841,368
負債合計	4,913,452	4,480,203
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金	2,675,826	2,675,826
利益剰余金	6,085,089	6,090,463
自己株式	△15,956	△18,538
株主資本合計	12,140,846	12,143,638
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	497,884	664,863
評価・換算差額等合計	497,884	664,863
純資産合計	12,638,731	12,808,502
負債純資産合計	17,552,183	17,288,705

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,719,763	4,931,709
売上原価	2,357,159	2,304,813
売上総利益	2,362,603	2,626,895
販売費及び一般管理費	2,685,317	2,749,664
営業損失(△)	△322,713	△122,768
営業外収益		
受取利息	309	371
受取配当金	19,118	20,671
受取地代家賃	12,534	12,869
受取技術料	66,749	84,449
受取補償金	—	46,000
その他	37,406	39,422
営業外収益合計	136,118	203,785
営業外費用		
支払利息	14,105	12,233
固定資産除却損	700	4,195
寄付金	12,497	15,183
その他	27,036	12,614
営業外費用合計	54,340	44,226
経常利益又は経常損失(△)	△240,935	36,789
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	136,300	—
固定資産売却益	—	139
特別利益合計	136,300	139
特別損失		
投資有価証券評価損	158,622	—
関係会社清算損	—	1,777
特別損失合計	158,622	1,777
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△263,257	35,152
法人税、住民税及び事業税	9,000	10,100
法人税等調整額	△30,789	19,678
法人税等合計	△21,789	29,778
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△241,468	5,373



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△263,257	35,152
減価償却費	386,366	329,512
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△15,179	△9,455
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,900	△51,000
受取利息及び受取配当金	△19,427	△21,043
支払利息	14,105	12,233
有形固定資産除却損	700	4,195
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△139
投資有価証券評価損益 (△は益)	158,622	—
関係会社清算損益 (△は益)	—	1,777
売上債権の増減額 (△は増加)	92,681	489,048
たな卸資産の増減額 (△は増加)	150,397	124,797
仕入債務の増減額 (△は減少)	73,193	△380,836
未払消費税等の増減額 (△は減少)	18,910	△39,635
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△136,300	—
その他	87,302	71,643
小計	553,016	566,249
利息及び配当金の受取額	19,427	21,043
利息の支払額	△14,347	△12,445
法人税等の還付額	4,487	—
法人税等の支払額	△19,145	△46,321
営業活動によるキャッシュ・フロー	543,438	528,525
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△280,027	△409,215
有形固定資産の売却による収入	—	522
無形固定資産の取得による支出	△26,071	△16,000
投資有価証券の取得による支出	△1,728	△1,832
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	93,548	41,016
投資活動によるキャッシュ・フロー	△214,278	△385,509
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△98,000	△110,000
自己株式の処分による収入	517	—
自己株式の取得による支出	△856	△2,581
配当金の支払額	△436	△460
財務活動によるキャッシュ・フロー	△98,775	△113,042
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	230,384	29,973
現金及び現金同等物の期首残高	1,870,094	2,939,555
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,100,479	2,969,529

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期 損益計算 書計上額 (注)2
	医薬事業	薬粧事業	特販事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,824,082	934,739	954,326	4,713,147	6,615	4,719,763	—	4,719,763
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,824,082	934,739	954,326	4,713,147	6,615	4,719,763	—	4,719,763
セグメント利益又は 損失(△)(注)3	△245,148	△99,323	22,538	△321,934	△779	△322,713	—	△322,713

(注)1. 報告セグメントに含まれない「その他」の内容は、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる、セグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。

II 当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期 損益計算 書計上額 (注)2
	医薬事業	薬粧事業	特販事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,800,737	952,721	1,176,503	4,929,963	1,746	4,931,709	—	4,931,709
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,800,737	952,721	1,176,503	4,929,963	1,746	4,931,709	—	4,931,709
セグメント利益又は 損失(△)	△281,382	△39,862	196,886	△124,358	1,589	△122,768	—	△122,768

(注)1. 報告セグメントに含まれない「その他」の内容は、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。